

写経

仏様の教えであるお経を書き写すことを「写経」といいます。これも修行のひとつです。求菩提の山伏たちが写経をする場所は如法寺（豊前市大字山内）でした。写経に使うための水（写経水）をくむ場所が、今でも残っています。



如法寺

求菩提山と関係が深く、山門には仁王像が安置されています。



写経水

廻檀

修行の合間に、山伏たちは九州から山口の家々をまわり、お祈りをしたり、心配事の相談にのったり、薬を渡したりしていました。これを「廻檀」といいます。そのお礼として米などをいただき、山伏たちは生活することができました。



呪符

災難を防ぎ、幸運をもたらすお守りのお札。

廻檀のときに山伏たちが村の人に渡していました。



山伏たちが使った薬草



作った薬を包んだ袋



袋を作るための版木